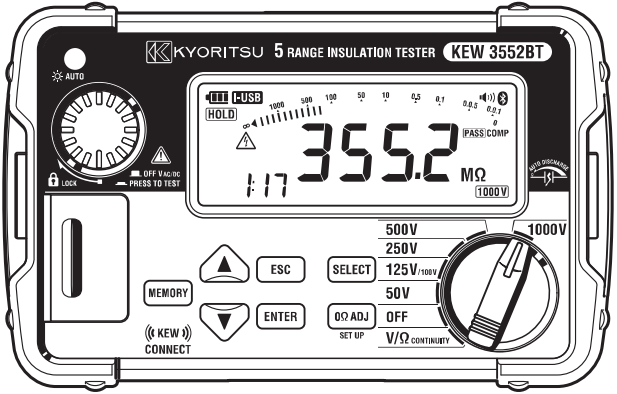
取扱説明書

JIS認証品
KEW3552/3552BT



電池式小型デジタル絶縁抵抗計

KEW3551/3552/3552BT

共立電気計器株式会社

目　次

1. 使用上の注意（安全に関する注意）…… 1
2. 特　　長 …… 4
3. 仕　　様 …… 6
4. 各部名称 …… 11
5. 付 属 品 …… 14
6. 測定の準備 …… 15
　6-1　測定コードの準備 …… 15
　6-2　電池電圧の確認 …… 16
7. 電圧測定 …… 17
　7-1　測定方法 …… 17
8. 絶縁抵抗測定 …… 19
　8-1　測定方法 …… 20
　8-2　連続測定 …… 22
　8-3　測定端子電圧特性 …… 23
　8-4　20G/40GΩレンジ設定（3552/3552BTのみ）…… 24
　　8-4-1　設定方法 …… 24
　8-5　良否判定機能 …… 25
　　8-5-1　良否判定機能の基準値 …… 25
　　8-5-2　基準値の設定方法 …… 26
　8-6　DAR/PI測定、1分値表示機能（KEW3552/3552BTのみ）…… 28
　　8-6-1　DAR/PI測定、1分値表示機能 …… 28
　　8-6-2　表示方法 …… 28
9. 低抵抗測定（導通チェック）…… 29
　9-1　0Ωアジャスト機能 …… 29
　9-2　測定方法 …… 29
10. バックライト/LEDライト、ブザー機能 …… 30
　10-1　バックライト …… 30
　10-2　ブザー …… 30
　10-3　オン/オフ設定方法 …… 31
11. オートパワーオフ …… 33
12. 現在時刻の設定（KEW3552/3552BTのみ）…… 34
　12-1　設定方法 …… 34

13. メモリ機能（KEW3552/3552BTのみ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
13-1　保存方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
13-2　読出方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
13-3　削除方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
14. 赤外線通信機能（3552/3552BTのみ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
14-1　データ転送方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
15. Bluetooth通信機能（KEW3552BTのみ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
15-1　Bluetooth通信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
15-2　KEW Smart Advancedの機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
16. 電池の交換方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
17. 肩掛ベルトの取り付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
18. 携帯用ケースへの収納方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
アフターサービス

1. 使用上の注意（安全に関する注意）

本製品はIEC61010電子測定装置に関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態で出荷されています。
この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項及び、本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 危険

●本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
●この取扱説明書は、お手元に大切に保管し、必要な時にいつでも取り出せるようにしてください。
●製品本来の使用方法及び取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。
●本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。

以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故のおそれがあります。危険及び警告、注意事項に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社としては責任と保証を負いかねます。

本製品に表示の ⚠ マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表しています。なお、この ⚠ マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

⚠ **危険**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
⚠ **警告**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 危険

●本製品に、対地電圧600Vを超える電圧は絶対に入力しないでください。また、本製品の端子間に600Vを超える電圧を入力しないでください。
●本製品はCATⅣ300V/CATⅢ600Vに適合しています。CATⅣ300V/CATⅢ600Vを超えるカテゴリ（CATⅣ600V等）に該当する場所では絶対に測定を行わないでください。
●引火性ガスのある場所で測定しないでください。火花が出て爆発する危険があります。

●本製品や手が濡れている状態では測定コードの接続は行わないでください。
●測定時に測定コードで電源ラインを短絡しないように注意してください。人身事故の危険があります。
●測定中は絶対に電池蓋を開けないでください。
●指定した測定方法および条件以外で使用した場合、本体の保護機能が正常に動作せず本器を破損したり感電等の重大な事故を引き起こす可能性があります。
●本製品の使用前あるいは指示結果に対する対策をとる前に、既知の電源で正常な動作を確認してください。

⚠ 警告

●本製品を使用しているうちに、本体や測定コードに亀裂が生じたり、金属部分が露出した時は、直ちに使用を中止してください。
●測定コードを接続の際には測定スイッチを押さないでください。
●本製品の分解、改造、代用部品の取り付けは行わないでください。修理・調整の必要な場合は、弊社サービスセンターまたは販売店宛にお送りください。
●本製品が濡れているときには、電池交換を行わないでください。
●測定コードを使用するときは、コネクタ部を根元までLINE端子、EARTH端子に差し込んでください。
●測定コードのコード内部から金属部分または外装被覆と異なる色が露出したときは、直ちに使用を中止してください。
●電池交換のため電池蓋を開けるときは、レンジ切り換えスイッチをOFFにした状態で行ってください。
●被測定物に測定コードを接続したまま、レンジ切り換えスイッチを切り換えないでください。

⚠ 注意

●測定を始める前に、レンジ切り換えスイッチを必要な位置にセットしたことを確認してください。
●使用後は必ず電源をOFFにしてください。また長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外した状態で保管してください。
●高温多湿、結露するような場所及び直射日光の当たる場所に本製品を放置しないでください。
●クリーニングには研磨剤や溶剤を使用しないで、中性洗剤か水に浸した布を使ってください。
●本製品は防水構造となっていません。水のかかるおそれのある場所では使用しないでください。故障の原因となります。
●本製品が濡れている場合は、乾燥後保管してください。
●測定の際は指先等が、バリアを越えることのないよう充分注意してください。

記号の説明

本製品および取扱説明書には、以下のシンボルマークが表示されています。それぞれのマークが意味する内容をよく理解した上でご使用ください。

⧈	二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。
⚠	人体及び機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
⏚	アースを示します。
⚠	感電の危険がある部分を示します。
⚠ >660V	660Vを超える交流配電系統では使用してはならないことを示します。
🗑	本製品はWEEE指令（2002/96/EC）マーキング要求に準拠します。（EU圏内のみ有効）

○測定カテゴリについて

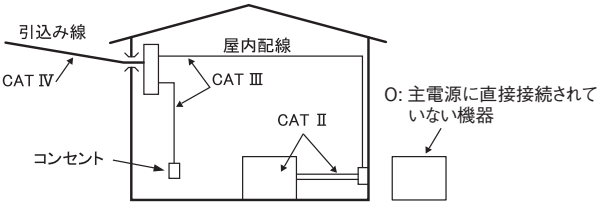
安全規格IEC61010では測定器の使用場所についての安全レベルを測定カテゴリという言葉で規定し、以下のようにO～CATⅣの分類をしています。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であることを意味します。CATⅢで設計された測定器はCATⅡで設計されたものより高いインパルスに耐えることができます。

O　　：主電源に直接接続されていない他の回路

CATⅡ：コンセントに接続する電源コード付機器の電気回路

CATⅢ：直接配電盤から電気を取込む機器の1次側及び分岐部からコンセントまでの電路

CATⅣ：引込み線から電力量計及び1次過電流保護装置（配電盤）までの電路



2. 特　　長

KEW3551/3552/3552BTは、絶縁抵抗測定、低抵抗測定、AC/DC電圧の測定が可能な計測器です。

●暗い場所や夜間作業に便利なバックライト、測定箇所を照らすLEDライト付きです。
照度センサにより自動的に点灯/消灯を行います。

●メモリ機能（KEW3552/3552BTのみ）
内部メモリにて測定データの保存、読出、削除をすることができます。

●赤外線通信機能（KEW3552/3552BTのみ）
内部メモリに保存したデータを、赤外線通信でパソコンにデータ転送することができます。

●Bluetooth通信機能を搭載（KEW3552BTのみ）
本器とタブレットをBluetooth接続することにより、タブレットで遠隔モニタ、データ保存をすることができます。

●時計機能（KEW3552/3552BTのみ）
測定結果を保存する際に、測定時の時刻も保存します。

●10分間操作しないまま放置した場合に電源をオフするオートパワーオフ付きです。

●電圧測定
入力電圧のAC/DCを自動判別して表示します。

●絶縁抵抗計
・測定開始後、約0.5秒の応答でスピーディーに結果を表示。
・オートディスチャージ機能が付き。測定時に容量性負荷に充電された電荷を測定後自動的に放電します。
・測定値が基準値未満、または以上のどちらかをバックライト点灯で知らせる良否判定機能付きです。
・絶縁抵抗測定開始と同時に測定経過時間をLCDに表示します。
・DAR/PI測定機能
絶縁抵抗測定中に自動的にDAR（誘電吸収）値及びPI値（成極指数）を演算し表示します。（KEW3552/3552BTのみ）

●0Ωアジャスト機能
低抵抗測定において、測定コード先端をショートして0ΩADJスイッチを押すと、コードの抵抗値をキャンセルできます。

●各モデルの機能一覧

機能		KEW3551	KEW3552	KEW3552BT
電圧測定		○	○	○
絶縁測定	20G/40GΩレンジ	–	○	○
	良否判定機能	判定値　固定	判定値　任意設定可能	
	DAR/PI測定	–	○	○
低抵抗測定	ゼロアジャスト機能	○	○	○
	導通ブザー	○	○	○
バックライト		○	○	○
メモリ機能		–	○	○
時計機能		–	○	○
通信機能	赤外線通信（MODEL8212USB）	–	○	○
	無線通信（Bluetooth）	–	–	○

3. 仕　　様

●測定範囲及び確度（23℃±5℃相対湿度85%以下）

(1) 電圧測定

レンジ	300.0/600V（オートレンジ）
表示範囲	AC 300.0V : 0.0～314.9V 600V : 270～629V DC 300.0V : ±0.0～±314.9V 600V : ±270～±849V
測定範囲 （確度保証範囲）	AC : 2.0～600Vrms（45～65Hz） DC : ±2.0～±600V
オーバー表示	AC：＞629V DCプラス：＞849V DCマイナス：＜-849V
確度	±1%rdg±4dgt

ACモードは実効値検波。CF<2.5の正弦波以外に対しては確度に±1%rdgを追加（850Vpeak以下）。
AC/DC自動判別（2V以上において）

(2) 低抵抗測定（導通チェック）

抵抗レンジ	40.00/400.0/4000Ω（オートレンジ）	
開放回路電圧 （DC）	5V（4～6.9V）	
測定電流	200mA以上（2Ω以下）	
表示範囲	40.00Ω:0.00～41.99Ω 400.0Ω: 36.0～419.9Ω 4000Ω: 360～4199Ω	
オーバー表示	＞4199Ω	
測定範囲と 確度	0.20～4000Ω （動作不確かさ維持範囲）	0～0.19Ω
	±2.5%rdg±8dgt	±8dgt

(3) 絶縁抵抗測定

<table>
<tr><td colspan="2">定格電圧</td><td>50V</td><td>100V</td><td>125V</td><td>250V</td><td>500V</td><td>1000V</td></tr>
<tr><td colspan="2">レンジ
（オートレンジ）</td><td>4/40/100
MΩ</td><td>4/40/200
MΩ</td><td>4/40/250
MΩ</td><td>4/40/400
/500MΩ</td><td>4/40/400/2000
MΩ/20GΩ*1
（20GΩレンジは
3552/3552BTのみ）</td><td>4/40/400/4000
MΩ/40GΩ*1
（40GΩレンジは
3552/3552BTのみ）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">表示範囲</td><td colspan="6">4MΩ：0.000～4.199MΩ　/　40MΩ：3.60～41.99MΩ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">100MΩ：
36.0～
104.9MΩ</td><td rowspan="3">200MΩ：
36.0～
209.9MΩ</td><td rowspan="3">250MΩ：
36.0～
262.4MΩ</td><td colspan="4">400MΩ：36.0～419.9MΩ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">500MΩ：
360～
524MΩ</td><td>2000MΩ：
360～2099MΩ</td><td>4000MΩ：
360～4199MΩ</td></tr>
<tr><td>20GΩ：
1.80～20.99GΩ</td><td>40GΩ：
3.60～41.99GΩ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">オーバー
表示</td><td rowspan="2">>104.9MΩ</td><td rowspan="2">>209.9MΩ</td><td rowspan="2">>262.4MΩ</td><td rowspan="2">>524MΩ</td><td>KEW3551
>2099MΩ</td><td>>4199MΩ</td></tr>
<tr><td colspan="2">KEW3552/KEW3552BT*1
20GΩ/40GΩレンジ オン時
（オフ時はKEW3551と同じ）
>20.99GΩ　>41.99GΩ</td></tr>
<tr><td colspan="2">開放回路
電圧</td><td colspan="6">定格測定電圧の100～110%</td></tr>
<tr><td colspan="2">短絡電流</td><td colspan="6">1.5mA以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格測定
電流</td><td colspan="6">1.0～1.1mA</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>@0.05MΩ</td><td>@0.1MΩ</td><td>@0.125MΩ</td><td>@0.25MΩ</td><td>@0.5MΩ</td><td>@1MΩ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">確度(許容差)</td><td>第1有効
測定範囲</td><td>0.100～
10.00MΩ</td><td>0.100～
20.00MΩ</td><td>0.100～
25.00MΩ</td><td>0.100～
50.0MΩ</td><td>0.100～
500MΩ</td><td>0.100～
1000MΩ</td></tr>
<tr><td colspan="6">±2%rdg±2dgt</td></tr>
<tr><td>第2有効
測定範囲</td><td>10.01～
100.0MΩ</td><td>20.01～
200.0MΩ</td><td>25.01～
250.0MΩ</td><td>50.1～
500MΩ</td><td>501～
2000MΩ</td><td>1001～
4000MΩ</td></tr>
<tr><td colspan="6">±5%rdg</td></tr>
<tr><td colspan="2">0.050～0.099MΩ:±2%±4dgt</td></tr>
<tr><td colspan="2">0.000～0.049MΩ：±2%rdg±6dgt</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記以外
測定範囲</td><td colspan="4">—</td><td>2.00～20.00GΩ</td><td>4.00～40.00GΩ</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td><td colspan="2">±5%rdg±0.4%perGΩ</td></tr>
</table>

最大容量負荷：1uF　測定後に規定時間（10秒）以内に放電可能な容量性負荷の最大値（IEC61010-2-034）。

測定容量負荷：2uF　JISC1302の出力電圧試験にて±10%の変動に収まる容量負荷

＊1：20GΩレンジと40GΩレンジは、オン/オフの設定が可能。設定方法は「8-4.20G/40GΩレンジ設定」を参照

●適応規格

（JISとIECで相違がある場合はJISの要求にしたがう。）

●JIS C 1302（絶縁抵抗計）
※KEW3552/3552BTはJIS C 1302に認証されています。
●IEC 61010-1、-2-034 CATⅣ300V / CATⅢ600V
汚染度2
●IEC 61557-1、-2、-4、-10
●IEC 61326-1、-2-2（EMC）
●IEC 60529（IP40）
●IEC 63000 (RoHS)
●IEC 61010-031
MODEL7260…CATⅢ600V（ｷｬｯﾌﾟ装着時）
CATⅡ1000V（ｷｬｯﾌﾟ未装着時）
CATⅡ1000V（MODEL8017A装着時）
（CATⅢ以上の環境で使用できるのはｷｬｯﾌﾟ装着時のみ。）
MODEL7261A…CATⅢ600V（ﾜﾆｸﾞﾁｸﾘｯﾌﾟ装着時）
…CATⅡ600V（ﾌﾗｯﾄﾃｽﾄ棒装着時）
（CATⅢ以上の環境で使用できるのはワニグチクリップ装着時のみ。）
※本体と先端金具、測定コードを組み合わせた際、測定カテゴリは、低い方の測定カテゴリ及び電圧値に制限されます。

●使用場所	高度2000m以下、屋内使用
●公称系統電圧	600V 本製品が測定可能な配電系統の公称電圧（IEC61557）
●使用温湿度範囲	-10℃～+50℃　80%以下（結露のないこと）
●保存温湿度範囲	-20℃～+60℃　75%以下（結露のないこと）
●外部通信方式（KEW3552BTのみ）	Bluetooth Ver5.0 準拠
●耐電圧	電気回路と外箱間でAC5160V（50/60Hz）／5秒間
●絶縁抵抗	電気回路と外箱間で50MΩ以上／DC1000V
●オートパワーオフ機能	操作のない状態が約10分間続くと、オートパワーオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。
●バックライト／LEDライト	操作のない状態が約2分間続くと、自動的に消灯します（測定中は自動で消灯しません）。
●外形寸法	97（縦）×156（横）×46（高さ）mm
●質　　量	約490g（電池を含む）
●電　　源	単3形乾電池4本（単3形アルカリ乾電池を推奨）

●動作不確かさ

動作不確かさ（B）は、公称使用範囲内で得られる不確かさで、使用する機器の固有不確かさ（A）と、各影響量による変動（En）から下式で算出され、JIS C 1302及びIEC61557では±30%以内と規定されています。固有不確かさ（A）は、標準状態における性能特性の不確かさを表します。

⑴ 絶縁抵抗測定　動作不確かさ（JIS C 1302及びIEC61557-2）

・計算式　$B = \pm\left(|A| + 1.15 \times \sqrt{E_1^2 + E_2^2 + E_3^2}\right)$

A	固有不確かさ
E_1	姿勢の影響（デジタル測定器のため非該当）
E_2	供給電圧の影響 （電池マークが ▮ になるまで）
E_3	温度の影響 （JIS C1302　0℃～40℃ / IEC61557-2　0℃～35℃）

なお、本製品の各値の範囲は以下の通りです。

固有不確かさ（A）・・・・・・・表示値の±5%以内（包含係数 k=2）

供給電圧の影響（E_2）・・・・・表示値の±5%以内

温度の影響（E_3）・・・・・・・・表示値の±5%以内

最大動作不確かさ（B）・・・・14%

※最大動作不確かさが維持される測定範囲は第1有効範囲と同じです。

⑵ 低抵抗測定　動作不確かさ（IEC61557-4）

・計算式　$B = \pm\left(|A| + 1.15 \times \sqrt{E_1^2 + E_2^2 + E_3^2}\right)$

A	固有不確かさ
E_1	姿勢の影響（デジタル測定器のため非該当）
E_2	供給電圧の影響 （電池マークが ▮ になるまで）
E_3	温度の影響（0℃～35℃）

※最大動作不確かさ（±30%以内）が維持される測定範囲は0.2～4000Ωです。

●電池有効範囲内で可能な測定回数（5秒間測定，25秒間休止）

ファンクション		試験用抵抗	電池有効範囲内で可能な測定回数
絶縁測定	50V	0.050MΩ	2000回以上
	100V	0.100MΩ	1600回以上
	125V	0.125MΩ	1600回以上
	250V	0.25MΩ	1300回以上
	500V	0.5MΩ	1300回以上
	1000V	1MΩ	700回以上
低抵抗測定		1Ω	1400回以上

※アルカリ乾電池使用時、バックライトオフ時、良否判定機能オフ設定時

4. 各部名称

(1) パネル面

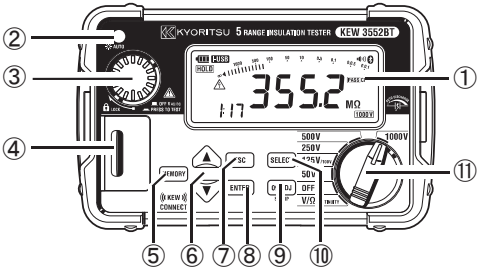


図 4-1

	名　　称	説　　明
①	LCD	バックライト付きLCDです。
②	照度センサ	ライトの点灯／消灯を自動で切り替えるため、周囲の明るさを検出します。
③	測定スイッチ	押すと測定開始、離すと測定終了します。 押しながら右に回すとスイッチがロックされ、連続測定ができます。
④	オプティカルアダプタ	MODEL8212USBを接続して、パソコンへ保存データを転送できます。
⑤	メモリスイッチ	測定がホールドされている状態で短押し（1秒未満）すると測定値の保存、待機状態で長押し（1秒以上）すると保存データの読出や削除をすることができます。
⑥	カーソルスイッチ	設定値のアップまたはダウンに使用します。
⑦	ESCスイッチ	前の操作に戻るときまたは設定画面から戻るときに使用します。
⑧	ENTERスイッチ	操作または設定を決定するときに使用します。
⑨	0ADJスイッチ （KEW3551：COMPスイッチ KEW3552/3552BT： SET UPスイッチ）	低抵抗測定時に0Ωアジャスト機能のON/OFFを切り換えます。 KEW3551:良否判定機能のオン/オフ設定でも使用します。 KEW3552/3552BT：各機能の設定を行う際にも使用します。
⑩	SELECTスイッチ	測定電圧が125Vのとき、長押し（1秒以上）すると100Vに切り換わります。また、電圧測定のとき、短押し（1秒未満）すると低抵抗測定に切り換わります。
⑪	レンジ切り換えスイッチ	絶縁抵抗の測定電圧、電圧/低抵抗測定を切り換えます。

※④⑤⑥⑦⑧はKEW3551にはありません。

(2) 側面部

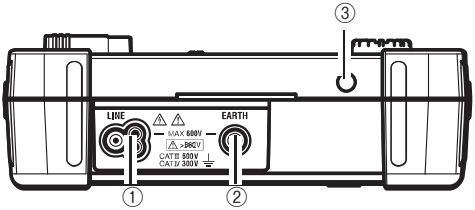


図 4-2

	名　称	説　明
①	LINE端子	測定コードMODEL7260を接続する端子です。
②	EARTH端子	測定コードMODEL7261Aを接続する端子です。
③	LEDライト	測定箇所を照らすためのライトです。ライトは周囲の明るさによって、自動的に点灯／消灯します。

(3) LCD

図 4-3

記　号	説　明
	電池電圧の状態を示す電池マーク
	絶縁抵抗の測定結果を示すバーグラフ
8.8.8.8 GΩ MΩV	測定結果および測定単位
NO.8.8.8.8 MΩ	メモリ番号、絶縁抵抗測定経過時間、良否判定機能のしきい値、1分値、DAR/PI値を表示
HOLD	測定終了時の結果ホールド中に表示
	絶縁抵抗測定中、活線警告時に点滅

<, >	結果がオーバーレンジの場合に>を表示。 （電圧測定DCマイナスの場合<を表示）
0Ω	0Ωアジャスト設定時に点灯
	Bluetooth通信時に点灯（3552BTのみ）
	ブザーON時に点灯
I-USB	赤外線通信時に点灯（3552/3552BTのみ）
Y:M:D h:m	時刻設定時に点滅（3552/3552BTのみ）
DAR	DAR値表示時に点灯（3552/3552BTのみ）
PI	PI値表示時に点灯（3552/3552BTのみ）
1min	1分値表示時に点灯
COMP	コンパレータ機能設定時に表示
25V 50V 100V 125V 250V 500V 1000V	絶縁抵抗測定にて選択した定格測定電圧を表示
PASS	絶縁抵抗測定で測定値がしきい値以上の時点灯
FAIL	絶縁抵抗測定で測定値がしきい値未満の時点灯
MEM	メモリ操作時に点灯（3552/3552BTのみ）
AC, DC, —	電圧測定時に表示。 交流電圧の場合AC、直流電圧の場合DCを表示。マイナス直流電圧の場合、-マークを表示

5. 付属品

● 測定コード

(1) リモートスイッチ付測定プローブMODEL7260 (赤色)

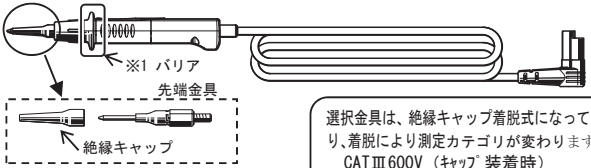


図 5-1

選択金具は、絶縁キャップ着脱式になっており、着脱により測定カテゴリが変わります。
CATⅢ600V (ｷｬｯﾌﾟ装着時)
CATⅡ1000V (ｷｬｯﾌﾟ未装着時)

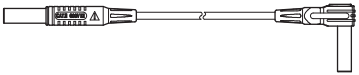
(2) 先端金具・ロングMODEL8017A
※MODEL7260につけて使用

図 5-2

MODEL7260 の先端金具では
届かない場合に使用します。

(3) ワニグチコードセットMODEL7261A

バナナーバナナコード(黒色)



L 形バナナプラグ

ワニグチクリップ

フラットテスト棒

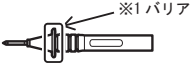


図 5-3

※1バリア : 操作中の感電事故を防ぐため、最低限必要な沿面及び空間距離を確保するための目印です。

● その他付属品

(1) 携帯用ケースMODEL9173
(2) 肩掛ベルトMODEL9121
(3) 単3形アルカリ乾電池4本
(4) 取扱説明書

6. 測定の準備

6-1 測定コードの準備

測定コードは用途に合わせて、先端部分を変更できます。

⑴ MODEL7260の場合

MODEL7260は先端部分の金具を用途に応じて交換することができます。

[MODEL7260用先端金具の種類]

① 着脱式先端金具…初期状態で付いている標準金具です。絶縁キャップ着脱式になっています。

② 先端金具ロングMODEL8017A…MODEL7260の標準金具では届かない場合に使用します。

[交換方法]

MODEL7260の先端を左に回すことにより、装着している先端金具をはずすことができます。

交換したい先端金具をプローブ先端の六角穴に入れ、プローブ先端部分と一緒に右に回し、しっかりとネジ締めします。

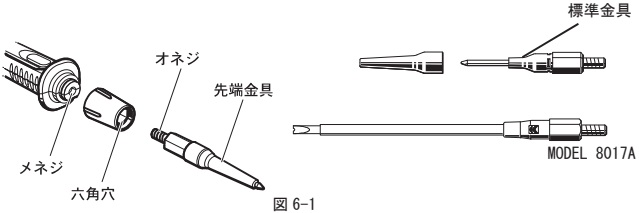


図 6-1

⑵ MODEL7261Aの場合

MODEL7261Aには、以下のアダプタを取り付けます。

[MODEL7261Aのアダプタ類]

① ワニグチクリップ

② フラットテスト棒

[取り付け方法]

交換したいアダプタをバナナ-バナナコードの先端部分に確実に差し込みます

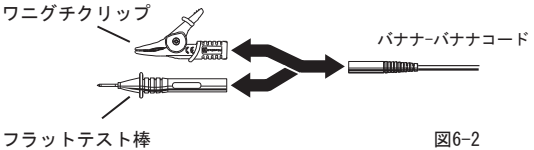


図6-2

⚠ 危険

感電を防止するため、リモートスイッチ付測定プローブの先端金具及びバナナ-バナナコード用アダプタを交換する際は、本体から測定コードを外した状態で行ってください。

6-2 電池電圧の確認

(1) 「16.電池の交換方法」を参照の上、電池を入れてください。

(2) レンジ切り換えスイッチをOFF以外のレンジにし、電源をONにしてください。

(3) LCD左上のバッテリーマークを確認してください。

バッテリーマークが三つ点灯の状態“▮▮▮”であれば正常です。

バッテリーマークが一つ点灯の状態“▮”であれば電池容量が残りわずかになっています。継続して測定を行う場合は、「16.電池の交換方法」を参照の上、電池を交換してください。

また、バッテリーマークがすべて消灯している状態“□”は、電源が動作電圧下限値以下となっています。本体が動作しても確度保証外となりますので、速やかに新しい電池と交換してください。

- バッテリーマークが測定前に“▮▮▮”であっても、測定物の抵抗値が低い場合など、測定物によっては、測定中にバッテリーマークが“□”になる場合があります。
- 本製品で使用する電池は、単3形アルカリ乾電池を推奨します。単3形アルカリ乾電池以外の電池の場合、バッテリーマークが、正しく表示されないことがあります。

7. 電圧測定

⚠ 危険

- 本製品に測定範囲（最大600V）を超える電圧を絶対に印加しないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越えることのないよう充分注意してください。
- 本製品の使用前あるいは指示結果に対する対策をとる前に、既知の電源で本製品の正常な動作を確認してください。

7-1 測定方法

(1) ファンクション切り換えスイッチをV/Ωの位置にセットします。
低抵抗測定になっている場合、SELECTスイッチを短押し（1秒未満）してください。

(2) 下図のように測定コードを本体に接続します。
・LINE端子にMODEL7260を差し込みます。
・EARTH端子にMODEL7261Aを差し込みます

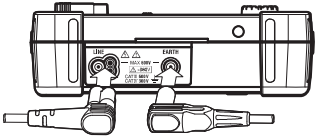


図 7-1

(3) EARTH端子側の測定コード（黒色）を被測定回路の接地側に、LINE端子側の測定コード（赤色）をライン側に接続します。

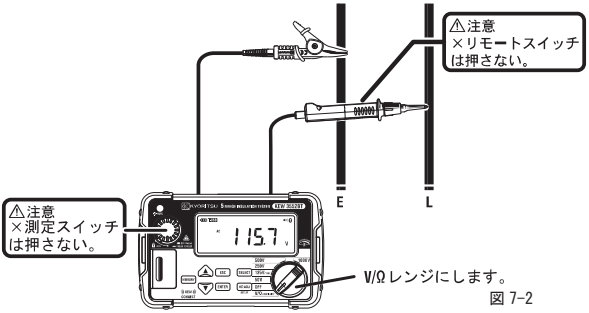


図 7-2

(4) 測定スイッチとリモートスイッチは押さないで、表示値を読みます。直流／交流は自動的に認識され、直流の場合は “DC” 、交流の場合は “AC” が表示されます。

● 直流の極性はラインプローブ側がマイナスのとき、電圧表示値の左側に “▬ （マイナス）” の極性表示が出ます。

● 測定値が2V未満の場合はAC、DCの判別はされません。

● 測定結果が表示範囲を超えた場合（オーバーレンジ時）は、以下の表示を行います。

AC電圧の場合：>629V
DC電圧（プラス）の場合：>849V
DC電圧（マイナス）の場合：<-849V

8. 絶縁抵抗測定

電気機器や電路の絶縁状態を調べるために、本製品で絶縁抵抗を測定します。測定の際には、被測定物に印加しても良い電圧を確認してください。

- 被測定物によっては絶縁抵抗値の不安定なものがあり、指示が安定しない場合があります。
- 絶縁抵抗測定中に本製品から発振音が出ることがありますが、故障ではありません。
- 被測定物が容量性負荷の場合、測定に時間がかかることがあります。
- 絶縁抵抗計において測定端子電圧は、EARTH端子からは＋極が、LINE端子からは－極が出力されています。
- 測定の際には、EARTH端子側を接地端子（大地）側に接続します。従来より、大地に対する絶縁測定や被測定物の一端が接地されているときには、大地側に＋極を接続する方が抵抗値が小さく出るのが普通であり、絶縁不良の検知には最適であるとされています。

⚠ 危険

- 絶縁測定時には、測定コードの先端には、高電圧が発生しています。測定中に、測定コード先端、または被測定回路にさわると、感電しますので、充分に注意してください。
  また、測定コードが水に濡れている場合は、充分にふきとった後で測定をしてください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。

⚠ 注意

絶縁測定の前には、必ず停電のチェックをしてください。活線状態では測定はできません。活線状態で測定を行った場合、本製品を損傷させる場合があります。

8-1 測定方法

⑴ 下図のように測定コードを本体に接続します。
・LINE端子にMODEL7260を差し込みます。
・EARTH端子にMODEL7261Aを差し込みます

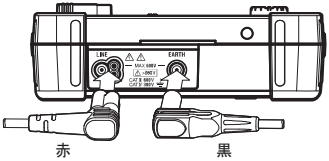


図 8-1

⑵ 測定回路に電圧がかかっていないか確認してください。
「7.電圧測定」を参照して電圧を測定してください。

⑶ 被測定回路に印加しても良い電圧を確認し、レンジ切り換えスイッチにて希望のレンジ（定格測定電圧）にセットします。

● 安全のため定格測定電圧500Vと1000Vの間に空きレンジを設けています。空きレンジを選択した場合、測定スイッチを押しても絶縁抵抗測定を行いませんのでご注意ください。

● 1000Vレンジを選択すると、断続ブザーが鳴って高電圧発生レンジであることを警告します。

● 100Vレンジを選択したい場合は、ファンクション切り換えスイッチを125V/100Vにセットした状態でSELECTスイッチを長押し（1秒以上）してください。

⑷ EARTH端子側の測定コード（黒色）を被測定回路の接地端子に接続します。電圧が30V以上の場合は、活線警告として“⚠”が点滅し、ブザーが鳴動します。また、バックライトが赤色で点滅します。活線警告中は測定ボタンを押しても抵抗の測定はできません。

⑸ LINE端子側の測定コード（赤色）の先端を被測定回路に当て、測定スイッチまたはリモートスイッチを押します。

● 絶縁抵抗測定中は、測定経過時間を表示します。時間表示は99分59秒まで1秒刻みで確認することができます。
100分以上測定した場合は、経過時間表示が99分59秒のままとなります。

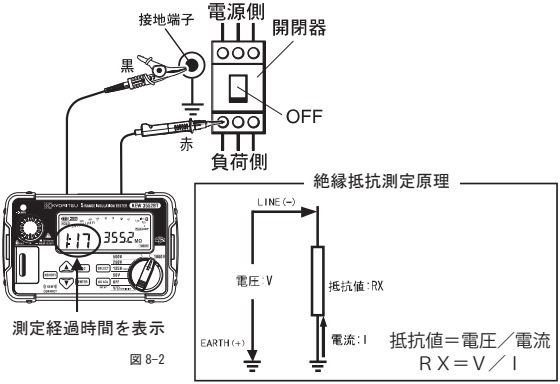


図 8-2

図 8-3

(6) 【オートディスチャージ機能】

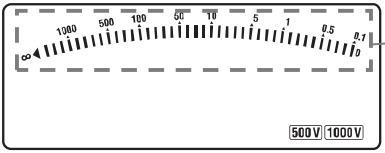
本製品には放電機能が付いています。測定終了後は測定コードの接続はそのままの状態で、測定スイッチまたはリモートスイッチをOFFにし、被測定回路に充電された電荷を放電してください。放電の状態は“⚠”の点滅、ブザー音、バックライトの赤点滅で確認することができます。

> **⚠ 危険**
>
> 測定が終了してすぐに被測定回路に触ると、充電されている電荷で感電することがあります。“⚠”の点滅が消えるまで、測定コードはそのままつないでおき、放電が完了するまでは被測定回路に触らないように充分注意してください。

(7) 測定が終了したら電源をOFFにし、測定コードを本体から外してください。

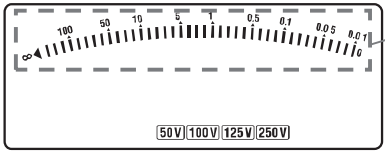
● 測定を終了すると、測定値がホールドされた状態になります。ホールド状態のときは、測定値を内部メモリに保存することが可能です（3552/3552BTのみ）。メモリ機能については、「13.メモリ機能」を参照ください。ホールド状態は、ファンクション切り換えスイッチの操作または再度測定を開始することで解除されます。

● バーグラフについて
測定電圧レンジによって表示されるバーグラフの値が異なります。下図のようにLCDの下部に測定レンジを記載しています。



500V/1000V レンジでのバーグラフ表示

図 8-4



50V/100V/125V/250V レンジでのバーグラフ表示

図 8-5

8-2 連続測定

絶縁抵抗の測定を連続して行う場合は、測定スイッチを押しながら右に回してください。測定スイッチがロックされ、連続測定ができます。
測定が終了したら、測定スイッチを左に回して元の位置に戻してください。

⚠ 危険

測定コードの先端には、連続して高電圧が発生します。感電しないよう充分注意してください。

8-3 測定端子電圧特性

本製品はJISC1302に準拠しています。この規格には定格測定電流が1mA以上という規定が有り、測定端子に定格電圧が維持される絶縁抵抗の下限が決められています。（下表参照ください）

この値は（定格電圧÷定格測定電流）で求められます。たとえば、500V定格の場合、500V÷1mA ＝ 0.5MΩとなります。つまり、0.5MΩ以上の絶縁抵抗値で定格電圧が供給できます。

定格電圧値	50V	100V	125V	250V	500V	1000V
定格測定電流（1mA）を供給可能な絶縁抵抗値の下限	0.05 MΩ	0.1 MΩ	0.125 MΩ	0.25 MΩ	0.5 MΩ	1MΩ

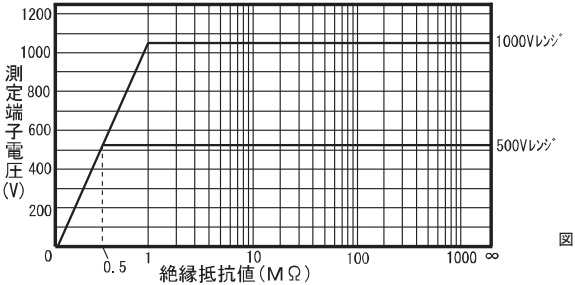


図 8-6

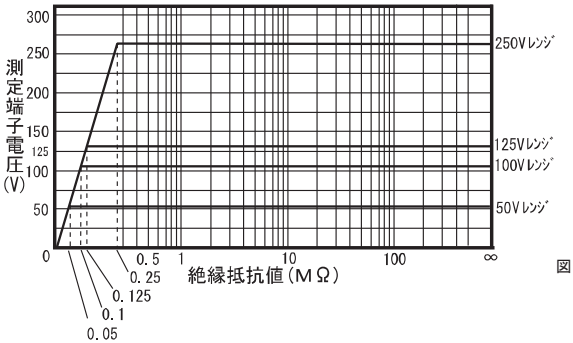


図 8-7

8-4 20G/40GΩレンジ設定（3552/3552BTのみ）

測定電圧が500Vのとき20GΩ、1000Vのとき40GΩレンジで測定できます。本機能はKEW3552/3552BTの機能です。KEW3551に本機能はありません。
20GΩ/40GΩレンジの有無により、500V/1000Vのレンジ構成は以下の様になります。

①20GΩ/40GΩレンジ　オフ設定時（工場出荷時）

電圧	レンジ（4レンジ）
500V	4.000MΩ/40.00MΩ/400.0MΩ/2000MΩ
1000V	4.000MΩ/40.00MΩ/400.0MΩ/4000MΩ

②20GΩ/40GΩレンジ　オン設定時

電圧	レンジ（5レンジ）
500V	4.000MΩ/40.00MΩ/400.0MΩ/2000MΩ/20GΩ
1000V	4.000MΩ/40.00MΩ/400.0MΩ/4000MΩ/40GΩ

8-4-1設定方法

以下の方法により20G/40GΩレンジをオンに設定することが可能です。

⑴ 以下の手順にて、本体を設定変更モードにします。
　① 低抵抗ファンクション以外の待機状態でSETUPスイッチを2秒以上長押しすると、設定変更モードに入ります。
　② カーソルスイッチを押して、20G/40GΩレンジの設定画面に移ります。
　設定画面では“40GΩ”が点灯し、現在の設定（“on”または“oFF”）が点滅します。

図 8-8

⑵ ENTERスイッチを押すごとに、設定が遷移されます。現在どの設定にあるかはLCDの“on”または“oFF”表示で確認することができます。

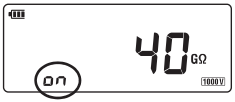


図 8-9

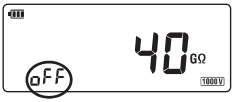


図 8-10

⑶ ESCスイッチを押すことで、設定が保存され、スタンバイ状態に戻ります。（電源をオフにしても設定は保持されます。）

8-5 良否判定機能

8-5-1 良否判定機能の基準値

本製品は、絶縁測定において、測定値と下記の基準値を比較し、バックライト点灯とブザーを鳴らす判定機能を備えています。本機能はオフにすることが可能です。
3552/3552BTでは基準値を任意の値に設定することが可能です。 KEW3551の基準値は固定になります。

● KEW3551の基準値は、以下のように設定されています。

定格測定電圧（V）	50V	100V	125V	250V	500V	1000V
基準値（Ω）	0.1M	0.1M	0.125M	0.25M	0.5M	1M

KEW3551の基準値は、定格電圧において1mAの電流が流れる抵抗値を基準としています。ただし、50Vレンジについては、電気設備技術基準58条に規定されている抵抗値を基準としています。

良否判定によるバックライトは以下のように表示されます。

比較結果	バックライトの色
基準値より大きい	緑色が点灯
基準値以下	赤色が点灯

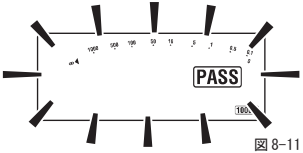


図 8-11

測定値＞基準値のとき、
“PASS”が表示され、緑色の
バックライトが点灯する。

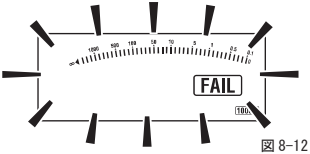


図 8-12

測定値≦基準値のとき、
“FAIL”が表示され、赤色の
バックライトが点灯する。

8-5-2 基準値の設定方法

以下の方法により良否判定機能のオフ、及び基準値を任意の値に設定（3552/3552BTのみ）することが可能です。
モデルによって設定方法が異なります。それぞれ、下記方法に従って設定してください。

[KEW3551]

(1) ファンクション切り換えスイッチを設定を行う絶縁抵抗レンジに切り換えます。
(2) COMPスイッチを押すごとに、設定が遷移します。現在どの設定にあるかはLCDの **"COMP"** または基準値の表示で確認することができます。

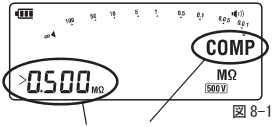


図 8-13

"COMP" と基準値が表示されていれば、良否判定機能オン

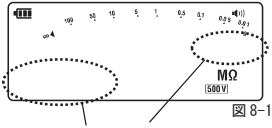


図 8-14

"COMP" と基準値が表示されていなければ、良否判定機能オフ

(3) レンジごとに設定を変更することができます。（電源をオフにしても保持されます。）

[KEW3552/3552BT]

(1) 以下の手順にて、本体を設定変更モードにします。
① 低抵抗ファンクション以外の待機状態でSETUPスイッチを2秒以上長押しすると、設定変更モードに入ります。
② カーソルスイッチを押して、基準値の設定を行うレンジを選択します。

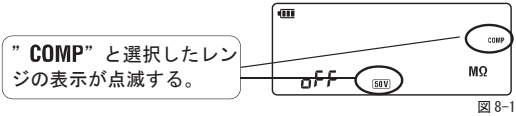


図 8-15

③ ENTERスイッチを押すと変更画面に移ります。

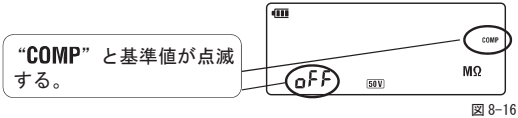


図 8-16

⑵ カーソルスイッチを押すごとに、基準値が遷移します。表示されている基準値のときにENTERスイッチを押すことで基準値を保存できます。設定できる基準値は下表となります。

設定可能基準値	OFF（設定なし）、0.100MΩ、0.125MΩ、0.200MΩ、0.250MΩ、0.400MΩ、0.500MΩ、1.000MΩ、10.00MΩ、100.0MΩ、Any（設定可能範囲 0.000MΩ～4199MΩ）

基準値をAnyとした場合は、以下の順番で任意の基準値に設定します。

① カーソルスイッチで小数点の位置を決め、ENTERスイッチで設定。

図 8-17

② カーソルスイッチで4桁目の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

図 8-18

③ カーソルスイッチで3桁目の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

図 8-19

④ カーソルスイッチで2桁目の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

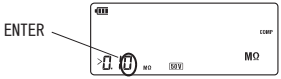


図 8-20

⑤ カーソルスイッチで1桁目の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

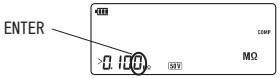


図 8-21

LCDの“**COMP**”と各レンジの表示が点滅になれば設定完了です。
設定途中でESCスイッチを押すと一つ前の設定に戻ります。

⑶ 設定完了後、ESCスイッチを押すことで、基準値が保存され、スタンバイ状態に戻ります。（電源をオフにしても基準値は保持されます。）

8-6 DAR/PI測定、1分値表示機能（KEW3552/3552BTのみ）

8-6-1 DAR/PI測定、1分値表示機能

絶縁抵抗測定中に自動的にDAR値（誘電吸収比）及びPI値（成極指数）を演算し、表示する機能です。また、測定開始から1分経過後の測定値も表示可能です。本機能はKEW3552/3552BTの機能です。KEW3551に本機能はありません。

- 測定経過時間が1分を超えた場合に、1分経過後の測定値とDAR値が表示可能となり、10分後にPI値も表示可能となります。
- 演算式と表示範囲は下表となります。

演算式	DAR ＝ 測定1分後の抵抗値 / 測定15秒後の抵抗値、 PI ＝ 測定10分後の抵抗値 / 測定1分後の抵抗値
表示範囲	0.00～9.99

※上記演算式の分母の抵抗値が0MΩの場合は、DAR/PI値は”no”を表示します。DAR/PI値が表示範囲を超えた場合は>9.99を表示します。

8-6-2 表示方法

以下の方法により1分値または、DAR/PI値を表示することが可能です。
測定開始から1分後に、カーソルスイッチを操作します。（PI値は測定開始から10分後に、表示可能となります。）
現在どの値を表示しているかは、LCDの表示で確認することができます。

- 1分値：
  “**1min**”と測定値が表示されます。

図 8-22

- DAR値：
  “DAR”とDAR値が表示されます。

図 8-23

- PI値：
  “PI”とPI値が表示されます。

図 8-24

9. 低抵抗測定（導通チェック）

⚠ 危険

低抵抗測定レンジには電圧を入力しないでください。測定の前には停電のチェックを行い、被測定回路に電圧がないことを確認のうえ測定してください。

9-1 0Ωアジャスト機能

0Ωアジャストは測定コードや内部回路抵抗をキャンセルし、被測定物の抵抗のみを表示する機能です。抵抗値は最大3Ωまでキャンセルすることができます。

[設定方法]

(1) ファンクション切り換えスイッチをV/Ωの位置にセットします。
(2) 電圧測定になっている場合、SELECTスイッチを短押し（1秒未満）して低抵抗測定に切り替えます。
(3) LINE端子側の測定コード（赤色）とEARTH端子側の測定コード（黒色）を短絡させます。
(4) 測定スイッチをロックさせた状態またはリモートスイッチを押した状態で0ΩADJスイッチを押すと“0Ω”が点灯し、0.00Ωを表示します。一度設定すると設定値はメモリに記憶され電源を切っても解除されません。
(5) 解除するには測定コードがオープンの状態で0ΩADJスイッチを短押しします。解除されると“0Ω”が消灯します。

● 表示値が3Ω以上のとき0ΩADJスイッチを押すと”no”と表示し0Ωアジャストが行えません。

9-2 測定方法

(1) ファンクション切り換えスイッチをV/Ωの位置にセットします。
(2) 電圧測定になっている場合、SELECTスイッチを短押し（1秒未満）して低抵抗測定に切り替えます。
(3) 測定コードを被測定物に接続し、測定スイッチまたはリモートスイッチを押します。

測定原理：抵抗値　=　電圧/電流
RX　=　V / I

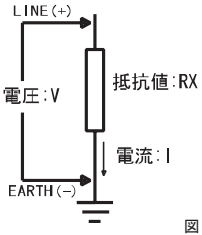


図 9-1

● 測定中の測定電流が200mA以上流れている場合は、ブザーが鳴り、導通していることを表します。ブザーはオフに設定することも可能です。「10.バックライト/LEDライト、ブザー機能」参照。
● 低抵抗測定は並列に接続された動作回路のインピーダンスによって測定結果が影響を受ける場合があります。
● 活線保護機能
本製品の低抵抗測定には、抵抗測定中に誤って活線に接続しても、本器の損傷を防止する保護機能を備えています。この機能は、測定端子をオープン状態から活線に接続した際に、本体を保護し損傷を防止します。

10. バックライト/LEDライト、ブザー機能

10-1 バックライト

本製品のバックライト、LEDライトは周囲の明るさによって、自動的にON/OFFします。一度ONすると周囲が明るくなっても約15秒間は点灯します。周囲の明るさは下図の照度センサで感知しています。ライトは常時オフにすることが可能です。

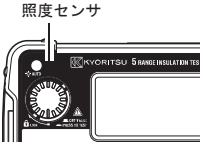


図 10-1

● 照度センサ部分の表面が汚れていると、ライトの点灯/消灯が正しく動作しない可能性があります。汚れが無いようご注意ください。
● 照度センサの感度調整はできません。ライトが点いて欲しいのに点灯しない場合は、照度センサの部分を指で覆ってください。照度センサが周囲が暗いと判断し、ライトが点灯します。一度点灯すると周囲の明るさにかかわらず15秒間は点灯状態を持続します。
● 周囲が暗い場合でも、操作のない状態が約2分間続くと自動的に消灯します（測定中または活線警告中は自動で消灯しません）。

10-2 ブザー

ブザーは以下の場合に鳴ります。
① 電源をオンした際
② レンジ切り換えスイッチを回した際、各スイッチを押した際
③ 導通ブザー（低抵抗測定で測定電流が200mA以上の場合）
④ 1000Vﾚﾝｼﾞに設定した際
⑤ 活線警告時
⑥ オートパワーオフ機能が動作する際
①～③のブザーについては、常時オフにすることが可能です。

10-3 オン/オフ設定方法

以下の方法によりバックライト/LEDライト、ブザーの設定を変更することが可能です。

注）モデルによって設定方法が異なります。それぞれ、下記方法に従って設定してください。

[KEW3551]

⑴ 以下の手順にて、本体を設定変更モードにします。

① 電源オフの状態で0ΩADJスイッチを押したままにします。

② ファンクション切り換えスイッチをV/Ωレンジにします。電源起動後、設定変更モードに入ります。
設定変更モード状態では、LCDの表示が点滅します。

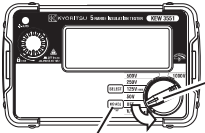


図 10-2

⑵ SELECTスイッチを押すごとに、設定が遷移します。（下表に示す設定モード1→2→3→4→1…と遷移します。）

設定内容	設定モード			
	1	2	3	4
ブザー	オン	オフ	オン	オフ
バックライト/LEDライト	オン	オン	オフ	オフ

現在どの設定にあるかはLCDのブザーマークとバックライトの点灯状態で確認することができます。

● ブザー：
オンの場合、LCDのブザーマークが点滅します。オフの場合は、消灯します。

● バックライト/LEDライト：
オンの場合、バックライトが点滅します。また、LCD左下に”on”が表示されます。オフの場合は、バックライトが消灯します。LCD左下に”oFF”が表示されます。

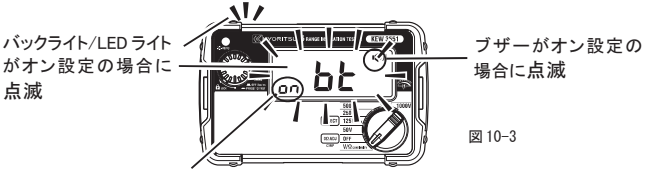


図 10-3

(3) 電源をオフし設定を終了します。(電源をオフする前の設定が保存されます。電源をオフにしても保持されます。)

[KEW3552/3352BT]

(1) 以下の手順にて、本体を設定変更モードにします。

① 低抵抗ファンクション以外の待機状態でSETUPスイッチを2秒以上長押しすると、設定変更モードに入ります。

② カーソルスイッチを押して、バックライト及びブザーの設定画面に移ります。設定画面は画面表示で判別します。

バックライト設定画面:
LCD に" bL" を表示。

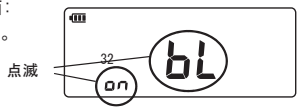


図 10-4

ブザー設定画面:
LCD に" ◀))" を表示。

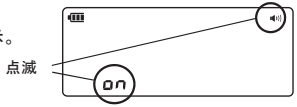


図 10-5

(2) ENTERスイッチを押すごとに、設定が遷移されます。現在どの設定にあるかはLCDの "on" または "oFF" 表示で確認することができます。

図 10-6

図 10-7

(3) ESCスイッチを押すことで、設定変更モードは解除され、そのときの設定が保存されます。(電源をオフにしても保持されます。)

11. オートパワーオフ

本製品には、自動的に電源がオフになるオートパワーオフ機能があります。
操作のない状態が約10分間続くと、オートパワーオフ機能が働き、警告ブザーが鳴った後、自動的に電源が切れます。オートパワーオフ機能が働いた後、再度電源を入れたい場合は、一度レンジ切り換えスイッチをOFFにしてから電源を入れ直してください。

なお、測定中またはBluetooth通信中（3552BTのみ）は、自動的に電源が切れません。

12. 現在時刻の設定（KEW3552/3552BTのみ）

本製品は時計機能を内蔵しています。測定データを保存する際に、測定した際の時刻も保存されます。
本機能はKEW3552/3552BTの機能です。KEW3551に本機能はありません。

12-1 設定方法

以下の方法により現在の時刻を設定します。

(1) 以下の手順にて、本体を設定変更モードにします。
① 低抵抗ファンクション以外の待機状態でSETUPスイッチを2秒以上長押しすると、設定変更モードに入ります。
② カーソルスイッチを押して、現在時刻の設定画面に移ります。
設定画面では“**Y:M:D h:m**”が点滅します。

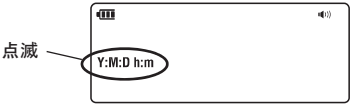


図 12-1

(2) ENTERスイッチを押すと、設定画面に移ります。設定画面では以下の順番で設定します。

① カーソルスイッチで西暦の下2桁の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

図 12-2

② カーソルスイッチで月日の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

図 12-3

③ カーソルスイッチで時刻の数値を決め、ENTERスイッチで設定。

図 12-4

設定途中でESCスイッチを押すと一つ前の設定に戻ります。
③の後、LCDの“**Y:M:D h:m**”が点滅になれば設定完了です。

(3) ESCスイッチを押すことで、設定が保存され、スタンバイ状態に戻ります。（電源をオフにしても設定は保持されます。）

13. メモリ機能（KEW3552/3552BTのみ）

電圧、絶縁抵抗、低抵抗の測定結果を最大1000件まで内部メモリに保存することができます。また、各データについて2種類の場所番号を付けて保存できます。
本機能はKEW3552/3552BTの機能です。KEW3551に本機能はありません。

- 保存されるデータは、測定値（電圧、絶縁抵抗、低抵抗）、DAR/PI値、1分値、日時、測定時のファンクション、保存時に設定したデータ番号、場所番号となります。
- 本体で読出できるデータは、測定値（電圧、絶縁抵抗、低抵抗）、測定時のファンクション、保存時に設定した場所番号とデータ番号になります。 DAR/PI値、1分値、日時は赤外線通信でパソコンへ転送した後、パソコン上でのみ確認できます。赤外線通信の方法は、「14.赤外線通信機能」をご覧ください。

測定結果と一緒に保存できる項目	内容	選択可能範囲
データ番号	保存データの番号を選択します。番号は前回保存の番号に自動的にプラス1されます。	0～999
SITE No.1（場所番号1）	測定データに任意の場所番号を指定できます。（例えば、測定した建物や被測定回路に番号を付けて保存）	0～99
SITE No.2（場所番号2）		0～99

13-1 保存方法

以下の方法により測定結果を保存することが可能です。

(1) 測定終了後の測定値がホールドされている状態にします。
（電圧測定の場合は測定中）

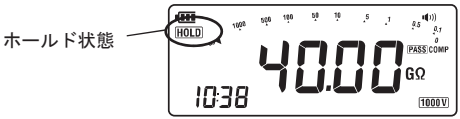


図 13-1

(2) メモリスイッチを短押し（1秒未満）します。
(3) 「SITE No.1」をカーソルスイッチで選択し、ENTERスイッチで設定します。

図 13-2

(4) 「SITE No.2」をカーソルスイッチで選択し、ENTERスイッチで設定します。

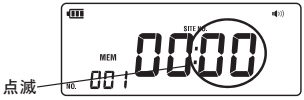


図 13-3

(5) 「データ番号」をカーソルスイッチで選択し、ENTERスイッチで設定します。
（データ番号は前回保存した番号から自動的に次の番号になっています。）

図 13-4

(6) 測定待機画面に戻れば保存完了です。
前の設定に戻る場合は、ESCスイッチを押すと再度設定できます。

●短縮操作について
上記(3)～(5)の操作中にメモリスイッチを押すことにより、「SITE No.1,2」、「データ番号」の設定を省略して保存が可能です。この場合、「SITENo.1,2」は前回保存の番号、「データ番号」は前回の値+1で保存されます。

13-2 読出方法
以下の方法により測定結果を読出することが可能です。
(1) スタンバイ状態でメモリスイッチを長押し（1秒以上）します。
(2) 保存データが表示されます。カーソルスイッチを押して確認したいデータ番号を選択します。

図 13-5

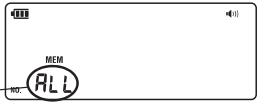
(3) SELECTスイッチを押すと、場所番号が表示されます。もう一度、SELECTスイッチを押すと測定値の表示に戻ります。
(4) ESCスイッチを押すと、測定待機画面に戻ります。

13-3 削除方法

以下の方法により保存したデータを削除することが可能です。

(1) スタンバイ状態でメモリスイッチを長押し（1秒以上）し、保存データの読み出しを行います。

(2) カーソルスイッチを押して削除したいデータ番号を選択します。すべての保存データを削除したい場合は、”ALL”を選択します。”ALL”は0と999の間で表示されます。



すべてのデータを削除したい場合

図 13-6

(3) ENTERスイッチを押すと、LCDに”clr”と表示されます。再度ENTERスイッチを押すと保存データが削除されます。ESCスイッチを押すと保存データの選択に戻ります。

削除されるデータ番号が点滅

図 13-7

(4) ESCスイッチを押すと、測定待機画面に戻ります。

14. 赤外線通信機能（3552/3552BTのみ）

保存したデータは、オプティカルアダプタMODEL8212USBを使用してパソコンへ転送することができます。本機能はKEW3552/3552BTの機能です。KEW3551に本機能はありません。

14-1 データ転送方法

以下の方法により保存したデータをパソコンに転送することができます。

(1) あらかじめPCに”KEW Report”をインストールしておいてください。
(2) 本製品の端子から測定コードを抜いてください。
(3) MODEL8212USBのプラグをパソコンのUSB端子に差し込みます。
(4) 図14-1の矢印の方向に本体上部のノブを持ち上げ、図14-2の様にMODEL8212USBを差し込みます。
(5) 本製品の電源を入れます。このとき、どのファンクションを選択していてもかまいません。
(6) あらかじめPCにインストールしておいた“KEW Report”を立ち上げて、“Download”コマンドをマウスでクリックしてください。保存されたデータがPCにダウンロードされます。詳細は8212USBの取扱説明書及び、KEW Reportのヘルプを参照してください。

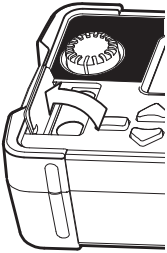


図 14-1

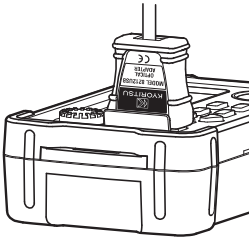


図 14-2

15. Bluetooth通信機能（KEW3552BTのみ）

本製品のBluetooth通信機能をご使用いただく際には、別紙「Bluetooth通信機能の注意事項」をよくご一読の上 ご利用ください。

15-1 Bluetooth通信

KEW3552BTはBluetooth通信により、Android/iOSのタブレットと通信を行うことができます。タブレットに専用アプリ「KEW Smart Advanced」をインストールすることにより、KEW3552BTから離れた場所からでも手元のタブレットで測定結果を確認することができます。
本機能はKEW3552BTの機能です。KEW3551/3552に本機能はありません。

本機能を使用するためには、タブレットをインターネットに接続し、専用アプリ「KEW Smart Advanced」をダウンロードしていただく必要があります。また、一部機能についてはインターネットに接続した状態でなければご利用になれません。詳しくは、「15-2. KEW Smart Advancedの機能」をご覧ください。

15-2 KEW Smart Advancedの機能

専用アプリ「KEW Smart Advanced」はAndroidのタブレットではGoogle Play ストア、iOSのタブレットではApp Storeで無料配信しています（インターネットに接続する必要があります）。ダウンロードや特定機能の使用にかかる通信費、インターネット接続料等はお客様の負担となりますのでご了承ください。
なお、「KEW Smart Advanced」は記録メディアによる配布は行っておりません。

「KEW Smart Advanced」には以下の機能があります。

- 離れた場所から測定結果を確認
- データ保存・表示機能
- 良否判定機能
  測定値が「8-5.良否判定機能」の基準値を下回るとブザー音を鳴らすことができます。
- マップ表示機能（Androidアプリのみ）
  保存したデータに位置情報がある場合、Google Maps上に測定位置を表示することができます。
- コメント機能
  保存された測定値にコメントを記入することができます。
  最新の情報については、Google Play ストアまたはApp Storeの「KEW Smart Advanced」の説明ページをご覧ください。

16. 電池の交換方法

バッテリーマークの“▮▮▮”が全て消灯し、“▮▭”となった場合は、速やかに新しい電池と交換してください。

⚠ 危険

- 本体が濡れている状態で電池蓋を開けることは絶対にしないでください。
- 測定中の電池交換は絶対にしないでください。また、感電事故を避けるため、電池交換の際は電源をOFFにし、測定コードを必ず本体から外して行ってください。
- 感電のおそれがありますので、絶対に電池蓋を開けたままで測定しないでください。

⚠ 注意

- 違う種類の電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜたりして使用しないでください。
- 電池は極性を間違えないよう、ケース内の刻印の向きに合わせて入れてください。

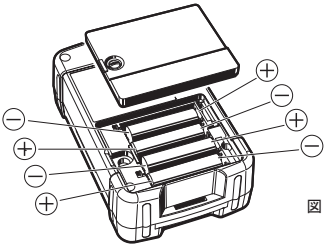


図 16-1

(1) 電源OFFにして、測定コードを端子から外します。
(2) 本製品底面についているネジ1個をゆるめて、電池蓋を外します。
(3) 電池の交換は、4本全て新しい電池と交換してください。交換の際は、極性を間違えないよう充分ご注意ください。
電池：単3形乾電池4本　アルカリ乾電池（LR6）を推奨します。
(4) 電池蓋を本製品に取り付け、電池蓋のネジ1個を締めてください。

17. 肩掛ベルトの取り付け方

付属の肩掛ベルトを取り付けることにより、首にかけて測定することができます。これにより両手が自由に使用でき、作業が簡単かつ安全に行えます。

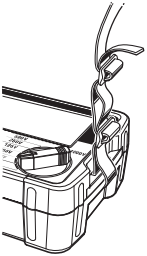


図 17-1

18. 携帯用ケースへの収納方法

携帯用ケースは、仕切り板を挟み測定コード収納部と本体収納部に分かれています。下図のように収納してください。

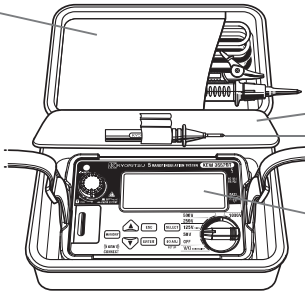


図 18-1

⚠ 注意

● 携帯用ケースへ収納する場合は、必ず本体の電源をオフにして収納してください。

MEMO

MEMO

アフターサービス

● **修理・校正を依頼されるには**
お買い上げいただいた販売店または弊社サービスセンターにお送りください。

● 製品のご使用に関するお問い合わせは
弊社お客様相談室にご連絡ください。

● 校正周期について
本製品を正しくご使用いただくため、定期的（推奨校正周期1年）に校正することをおすすめいたします。

● 補修用部品の保有期間
本製品の機能・性能を維持するために必要な補修部品を製造打ち切り後、５年間を目安に保有しています。

■ホームページのご案内
www.kew-ltd.co.jp
●新製品情報　●取扱説明書／ソフトウェア／単品カタログのダウンロード
●販売終了製品情報

ご使用に関するお問い合わせは

共立電気計器　お客様相談室

電話受付時間　9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く）

フリーコール **0120-62-1172**

※折り返しお電話させていただくことがございますので
発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
※フリーコールをご利用いただけない場合は、最寄りの
弊社営業所へおかけください。

修理・校正に関するお問い合わせは

共立電気計器 サービスセンター

〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸４８０

☎ **0894-62-1172**

修理・校正を依頼される場合は事前に電池の消耗、
ヒューズや測定コードの断線を確認してから
輸送中に損傷しないように十分梱包した上で
弊社サービスセンターまでお送りください。